

週刊 エクステリア

EXTERIOR weekly

発行所
株式会社 協報
発行人 金井 徹
〒556-0016 大阪市浪速区元町3-10-4(晋陽ビル)
TEL 06-6631-8892 FAX 06-6631-8891
E-mail info@exterior.co.jp
東京 〒101-0035 東京都千代田区神田船場173
TEL 03-5295-0801 FAX 03-5295-0802
E-mail kyoho@jade.dti.ne.jp
URL http://www.exterior.co.jp/
発行日 毎週火曜日(但し第5週火曜日は休刊)
購読料 年間 23,000円(税別・前納)

EX総合展示会全国5会場

来場者8万8172名、1.6%増

名古屋・九州・大阪増加、東京減少、仙台微減

日程	展示会名	開催都市	会場	来場者数	前回比
4	20(金)~21(土) EXE (エクステリアエキシビジョン)	東京	東京ビッグサイト西ホール	13,529	-7.6
	27(金)~28(土) エクステリア&ガーデンフェア	名古屋	ポートメッセなごや	20,132	+2.0
5	11(金)~12(土) エクステリアフェア in 九州	福岡	福岡国際センター	8,768	+8.6
	26(土)~27(日) 希望の芽	仙台	夢メッセみやぎ	20,394	-0.7
6	7(木)~8(金) 関西エクステリアフェア	大阪	インテックス大阪	25,351	+6.8
計	10日間	5都市	5会場	88,172	+1.6

エクステリア総合展示会は今年も全国5会場で開催され来場総数は8万8172名で前年比1.6%増となった。5会場の中で最も来場者数の多かったのは大阪会場で2万5351名。最も少なかったのは九州会場で8766名。表のように増減率の増加順位は最も高い九州が8.6%増、続いて大阪の6.8%増、名古屋の2%増、減少率では東京の7.6%減、仙台の0.7%減の2会場であった。

増加率九州最大8.6%増、東京は7.6%減

4月20日の東京会場か総合展示会は6月8日の閉幕(全10日間)、来場約2%増(プラス648名)であった。大阪会場では昨年比1.6%増(プラス648名)であった。中央に緑の増加であった。先陣をきいて4月に行われた東京会場「EXE (エクステリア エキシビジョン)」は場所を東京ビッグサイト西ホールで開催され、来場者は1万3529名で前年比7.6%(マイナス1120名)減となった。春先の展示会であったこと、2日間とも暗れで現場との重りがあつたのが減少の要因と推定できる。同じく4月に開催された名古屋会場「エクステリア&ガーデンフェア」は2万132名の来場で

増の8万8172名となった。前年より1420名の増加であった。先陣をきいて4月に行われた東京会場「EXE (エクステリア エキシビジョン)」は場所を東京ビッグサイト西ホールで開催され、来場者は1万3529名で前年比7.6%(マイナス1120名)減となった。春先の展示会であったこと、2日間とも暗れで現場との重りがあつたのが減少の要因と推定できる。同じく4月に開催された名古屋会場「エクステリア&ガーデンフェア」は2万132名の来場で

ただ、これまでの「創作ガーデン出展」のレベルアップを目指した14作品が並び、プロにも一般にも興味深い企画を行い、注目度を高めた。6月開催で5会場の最後を締めくくった大阪会場「関西エクステリアフェア」はこれまでの最大来場者2万5351名を達成、前年比6.8%増(プラス1612名)と関係者を喜ばせた。同時開催の「KENTEN」の「防犯防災総合展」の相乗効果が大きいといえる。大栗田の東京会場が減少したことの理由としては、他のエリアと比べて専門店化の遅れがあげられる。職人の数は多いと見られるが、それゆえ現場中心の動きとならざるを得ない。プロか一般かというジレンマの中にあることも確かである。東京での広がり課題の一つだ。

続新市場創造記

雪中松白為健全

機を見て盛を創る

⑬

エクステリア市場を作りあげる尖兵となったロック(化粧ロック)は時代を経て大きな危機を迎えている。それは地震による倒壊事故という安全性の面、施工者不足という物理的な面、施工スピードという経済的な面の3方向からきており、ロックを取りまく環境は「ヘレン・ケラー(三重苦状態)である。かつての地震によるプ

ロック倒壊による人身事故、控壁・控柱の規定、故は、つまるところ施工者の手抜き、あるいは法律違反によるところがほとんどといえる。もともとロックそのものが連団体による啓蒙及び有

高い塀、特に通学路等、通行者の多い現場をチェック、時と場合によって自治体等の厚い補助政策を全国的に求めて行く必要がある。これらの動きが伴わないと、かつてのエクステリアのバイオニアップロック塀は、その市場が求も課題の一つだ。利益の配分のバランスが崩れれば業界全体の崩れを助長することになる。この分野で最も遅れていると思われるのは省力化であろう。近年、東京都東村山市の夢空館が考案した治具「リックススベーター」に注目したいところだ。

「エクステリア」の概念⑬